

千葉県 「平成20年度ちば中小企業 元気戦略事業計画書」策定

千葉県は「千葉県中小企業の振興に関する条例」に基づく基本方針である「千葉県中小企業元気戦略」の平成20年度の実施計画を取りまとめた。

県はこの事業計画書に基づき、多くの中小企業が厳しい経営環境に対して果敢に挑戦することができるよう支援を展開していくとしている。以下はその概要。

▼事業費14億600万円（ほか、中小企業振興資金融資枠2625億9700万円）

▼計画項目

- (1) 経営革新の促進
 - ① 中高年者等の創業や経営革新承認企業への県制度融資に係る利子補給②サービス産業生産性向上モデル事業
- (2) 創業及び再生支援
 - ① 創業等の専門家の企業への派遣
- (3) 事業承継の円滑化
- (4) 中小企業の海外展開支援
 - ① 海外特許出願に要する費用（出願費用、弁理士費用、翻訳料等）

の助成

(5) 地域づくり、まちづくりと連携した中小企業の活性化

① ちば中小企業元気づくり基金事業（基金総額80億円）② 大型店と地域商業の共生・地域貢献等のガイドラインの周知・運用（大手小売業者との包括協定の締結等）

(6) 経済発展とバランスをとった規制、規制緩和の取組

(7) 技術力の向上、企業連携の促進

① 地域資源ブランド化総合推進事業

(8) 中小企業のIT（情報通信技術）利活用の促進

① IT等の専門家の企業への派遣

(9) 資金調達の円滑化

① ちば新産業育成ファンド「第2号ファンド」設立事業② セーフティネット資金等保証料補助事業

(10) 官公需施策の推進

(11) 相談・支援機関、機能の充実

(12) 人材確保・人材育成

① ジョブカフェちば事業（個別相談、適職診断、就業情報提供等）
② デュアルシステム訓練事業
◎ お問い合わせ先
千葉県経済政策課政策室
Tel 043-2253-2703

千葉県、国に対して要望

千葉県ではこのほど国に対し要望を行った。これは地方分権改革推進の観点から、今後この要望が国の施策に取り入れられるよう、積極的に働きかけるとしている。

そのうち、産業振興に関わる主な項目は次のとおり。① 21世紀型新産業の展開と就業支援の充実② 魅力的な観光地づくりの推進③ 力強い千葉県農林水産業の展開④ 成田国際空港の機能充実⑤ つくばエクスプレス沿線地域のまちづくり⑥ 地方の活力を支える道路施策の推進。

中小企業BCCP 支援制度開始

全国中央会と商工中金、(株)損保ジャパンはBCCP（事業承継計画）に取り組み中小企業を支援するための制度を5月1日から開始した。全国中央会は都道府県中央会と協力して、本制度を会員である中小企業組合に所属する中小企業等に案内するとともに、BCCPについて必要な助言を行なう。また、商工中金はBCCP策定資

金の貸付時の金利の優遇、損保ジャパンはリスク状況の良好な企業に対して、災害時のキャッシュフローを守るための保険について保険料の割引を行なうもの。（中小企業庁作成のBCPGガイドの概要は次頁）。

地域力連携拠点開設

本会は5月30日、地域力連携拠点を開設した。

これは、関東経済産業局の委託を受けて、地域における優秀な支援者を「応援コーディネーター」として本会に配置し、日本の強みである「つながり力」を更に強化し、経営力の向上や新事業展開、事業承継等の中小企業が直面する様々な課題に対してワンストップできめ細かな支援を行うもので、全国で316拠点到開設された（事業の概要は12頁）。

全国大会（千葉県大会） 準備委員会開催

本会は来年千葉県で開催される第61回中小企業団体全国大会の準備委員会を6月20日、千葉市内のホテルで開催し、① 実行委員会及

び小委員会の設置② 委員の選定③ 今後のスケジュール④ 実行予算等について検討しその概略が決定した。

委員会は実行委員会（坂戸誠一委員長）の元に、総務・企画委員会（篠原敬治委員長）、会場設営・物産フェア委員会（中嶋敏夫委員長）、大会誌作成委員会（塚本福二委員長）の三つの小委員会と監査委員会が設置された。

専門委員会開催

本会は6月20日、千葉市内において専門委員会（委員長＝篠原敬治）を開催した。

これは会長の諮問機関として中小企業に対する適切な振興対策を確立するためのもので、議題は① 第60回中小企業団体全国大会への要望事項（国に対する要望）② 千葉県への要望等を委員から提出された案件を基に事務局の素案とともに審議された。

要望事項は中小企業振興対策の一層の充実強化を求めるもので、当日の審議結果は事務局でまとめられ中央会関東甲信越ブロックに提出された。